

## 11月歩こう会(関西支部合同)＝京都哲学の道＝

日 時：2025年11月26日（水）

場 所：京都市

参加人数：14名(関西支部と合同)

予てより囑望していた”哲学の道”散策を11月26日に総勢8名で京都に赴き実施しました。当日は好天に恵まれ絶好の観光日和となりました。

“哲学の道”は、琵琶湖疏水分線に沿って約1.5kmから2km続く散歩道です。明治時代には多くの文人がこの地域に住んでいたため、当初は「文人の道」と呼ばれていました。その後、京都大学の哲学者である西田幾多郎や田辺元らがこの道をお好んで散策し、思索を深めたことから“哲学の小径”や“思索の道”などと呼ばれるようになりました。1972年に正式に“哲学の道”と命名され、現在では京都を代表する観光名所の一つとなっています。

出発地点の“銀閣寺”前で関西支部の面々と合流し、同道を南下しました。

道すがら思いのほか鮮やかな紅葉を楽しむことができました。

途中関西支部の高さんには法然上人ゆかりの“法然院”や、“63代冷泉天皇櫻御陵”をプロ並みの熟練した味わいでご案内して頂きました。

“法然院”は比較的人が少なく秋の景色をゆっくり味わうことができました。

そして住宅地の中に突然“冷泉天皇御陵”が現れるのはさすが京都といったところ  
です。これらの御陵は宮内庁が所轄していて、偶然にも翌日が冷泉天皇の御命日  
ということで丁寧に掃き清められ命日の儀式に備えていました。

その後は“永観堂”や“南禅寺”へ向かいましたがたいへんな人ごみでした。

この日の歩行数は18,000歩を越えてまさしく歩こう会となりました。

京の秋を満喫した後、京都駅前では新たに関西支部から3名(加納さん・岩井さん・吉田さん)そして中部支部1名(金森さん)が参加し懇親会が開かれました。

久々の邂逅で、現役時代を懐かしみ17名で旧交を明温めあい、大いに盛り上がり再会を念じ解散となりました。

★参加者

(関西支部)

横山さん・水野さん・崎谷さん・高さん・津田さん・葛野さん

(中部支部)

鹿島さん・金井さん・竹内さん・滝さん・倉知さん・樺山さん・大橋さん・水谷さん

(歩こう会幹事 水谷清春)



銀閣寺で関西支部と集合



法然院

高さんの解説: 葷酒山門に入るを許さず (読み) クンシュサンモンニイルヲユルサズ葷酒(臭気の強いネギ・ニラなどの野菜と酒)は、心を乱し修行の妨げになるので、寺の門内に持ち込むことは許さない。



法然院の白砂壇

高さんの解説: 白砂壇 (読み) ビヤクサダン 水を表す砂壇の間を通ることは心身を清めて浄域に入ることを意味する



鮮やかな紅葉



秋の景色



冷泉天皇櫻御陵-①



冷泉天皇櫻御陵-②



永観堂の賑わい



秋を楽しむ①



秋を楽しむ-②



南禅寺山門前



懇親会の様子

以上